

# 品川区教育委員会会議記録

平成 25 年 第 7 回 定例会

場 所 教育委員室

期 日 平成 25 年 6 月 11 日

開 会 午後 2 時 00 分

閉 会 午後 2 時 43 分

出席委員	委 員 長	市川 信之助
	委員長職務代理者	鈴木 敏夫
	委 員	安尾 久子
	委 員	波多野 美佳
	教 育 長	中島 豊
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	田村 信二
	庶 務 課 長	齋藤 信彦
	学 務 課 長	和氣 正典
	指 導 課 長	渋谷 正宏

議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>署名委員に鈴木委員、安尾委員を指名。</li> </ul>
---------------------------------	--

件名	<p>日程第1 協議事項</p> <p>教育委員会事務事業の点検および評価について</p>
担当課説明等	<p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に基づき説明</li> </ul> <p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に基づき説明</li> </ul> <p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に基づき説明</li> </ul> <p>(教育次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に基づき説明</li> </ul>
委員質疑要旨	<p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学識経験者として選定した樋口直宏先生は、区の校区外部評価委員も務めている先生か。</li> </ul>
事務局説明	<p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学識経験者として選定した樋口直宏先生は、上神明小学校、大崎中学校で校区外部評価委員を務めていただいていたが、平成23年度から専門外部評価委員を依頼している関係で、現在は、校区外部評価委員ではない。</li> </ul> <p>(教育次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会事務事業の点検および評価については、今年度で6回目となる。本日、評価案を提示したが、今回で決定するのではなく、翌年2月の評価報告書の作成および議会報告に向け、今後、何度かご意見や検討をいただく機会を設ける予定である。そのため、今回提示させていただいた評価案を確認していただき、次の機会にご意見をいただければと考えている。</li> </ul>
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	日程第2 報告事項1 平成25年度品川区電力節減方針について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	日程第2 報告事項2 6月補正予算について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 区議会の審議・議決前の案件であるため、非公開の会議としたい。
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	非公開の会議とする。

<p>件名</p>	<p>日程第2 報告事項3 小中一貫の日について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(指導課長) ・ 資料に基づき説明</p> <p>(統括指導主事) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員C) ・ 事業の内容と「小中一貫の日」という名称が一致していないように感じるが、教育委員会事務局としてはどう考えているか。</p> <p>(委員E) ・ 「小中一貫の日」によって、児童・生徒に対する理解が深まるような事例はあったか。 ・ 小学校で上手く人間関係等が築けていない子ども達が連携校へ進学する際、中学校生活ではどのように人間関係を築いていくのか。</p> <p>(委員B) ・ 連携校同士において、教員同士、小・中学校の授業内容を経験しているのか。</p> <p>(委員A) ・ 研修会に参加する教員は、どのように選定するのか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(教育次長) ・ いじめ等の対策のひとつとして、「小中一貫の日」を制定した。これは、小中一貫教育の連携校となっている小・中学校の教職員が、共同でいじめ根絶に向けた情報交換やいじめ防止研修等に取り組み、いじめのない学校づくりを目指すものである。名称については、「いじめ根絶の日」という案もあったが、この名称にすることで、いじめ根絶の日だけいじめについて考えれば良いということに繋がる恐れもあるため、小学校と中学校のつながりや円滑な情報交換を行うことを目指す意味も込めて「小中一貫の日」とした。制定したばかりで名称と事業内容に馴染みが薄いところもあるが、徐々に浸透していけばと考えている。</p> <p>(統括指導主事) ・ 第1回目である6月5日に、7年生の数学の授業を参観した。7年生の1学期の授業は、小学校時代の学びの延長であり、特に算数に配慮した様子でゆっくりと授業を行っている。そして、7月頃の2学期からスピードが徐々に上がり中学生らしい授業となる。子ども達にとっては、勉強に対し、不安と期待があると感じるが、授業も丁寧に行っているため、安心して授業に打ち込める環境づくりができていた。授業参観後は、小・中学校教員による意見交換等を実施し、小学校教員から見た中学校の様子、中学校から小学校への質問など、いじめ根絶を念頭に、子どもの実態に照らした意見交換が活発に進められた。意見交換では、中学校への進学に対する希望や不安など、小学校教員から挙がっていた。 ・ 分科会においても、連携校における人間関係等が話題となった。小学校時代に人間関係やコミュニケーションが上手く築けない児童は、連携校ではない別の学校を選択して中学校生活をスタートしているケースが多い。そして、中学校生活からリセットして始めることで、普通に友達同士でコミュニケーションを通じて、人間関係等を築いている様子が伺える。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携校同士において、教員の授業内容の把握は、研修会等を通じて行っている。また、連携の進んでいる学校においては、教員同士で授業のやりとりが日常的に行えている。「小中一貫の日」における研修会は、連携校ではない学校の教員同士が授業参観を通じて、情報交換等を行うことを目指しているものである。</li> <li>・ 研修会に参加するにあたり、事前に子ども達が全ての小学校からどの中学校にどの程度進学したかという情報を把握した。そして、一人でも小学校から中学校に子ども達が進学している学校へは、必ず教員を派遣することとしている。</li> </ul>
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	日程第3 その他 平成25年7月の行事予定について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承